

Bonjour

フリーライターの「筆者」は、友人が貝溝入を検討している中古住宅の間取り図に奇妙な点があることに気づく。間取りには「なぜか窓がない部屋」「行き止まりの廊下」「用途不明の空間」など、不可解な構造が多く含まれていた。

『変な家』
雨穴 著

3-2

筆者は建築士の知人栗原とともに調査を始め、間取りの謎を一つずつ解き明かしていくうちに、家に隠されたおぞましい真実にたどり着く。やがて明らかになるのは、過去にその家で起きた一家失跡事件と、そこに仕掛けられた「恐ろしい計画」だった――。

6月号 図書委員
2025年